

件名	柏崎刈羽原子力発電所5号機の出力降下について
通報日	平成16年6月16日
概要	<p>当社・柏崎刈羽原子力発電所5号機（沸騰水型、定格出力110万キロワット）は、定格熱出力一定運転中のところ、平成16年6月16日午前2時8分頃、中央制御室においてCRDアキュムレータ<sup>(注)</sup>圧力の低下を示す警報が発生いたしました。現場確認をしたところ、185本ある制御棒のうち1本の挿入圧力の低下が継続しており、当該制御棒が保安規定に定める挿入圧力を確保できないことから、保安規定に定められている処置を行うことといたしました。（「運転上の制限の逸脱」）</p> <p>保安規定においては、当該制御棒のアキュムレータの圧力を8時間以内に復旧するか、または当該制御棒を全挿入することが求められております。</p> <p>今回、当該制御棒を全挿入する際、燃料への影響を緩和するため、午前8時34分より出力を一旦約113万キロワットから約98万キロワットまで低下させ、当該制御棒1本を挿入いたしました。今後、当該水圧制御ユニットの漏えい箇所を分解し、点検、修理することといたします。</p> <p>なお、原子炉を緊急停止させる機能に影響はありません。</p> <p>(注)：CRDアキュムレータ</p> <p>制御棒（CR）の急速挿入は、水圧により駆動するが、水圧を制御するための高圧窒素ガスを供給する装置。今回はこの高圧窒素ガスの圧力が低下したものの。</p> <p>（平成16年6月16日 プレス発表内容）</p> <p><a href="http://www.tepco.co.jp/kk-np/nuclear/pdf/16061601.pdf">http://www.tepco.co.jp/kk-np/nuclear/pdf/16061601.pdf</a></p>